

あいちの印刷

10

2026.10

No.659



上高地（長野県松本市）

もくじ

- 巻頭言「小さな一歩から、未来をつくる」…………… 3
- 最低賃金が決まりました
愛知県の最低賃金は1,195円(55円アップ) …………… 4
- 日印産連 2026年「9月印刷の月」記念式典 …………… 6
- 愛印工組・西三河支部
「9月印刷の月」で地元紙にPR広告 大日印刷を紹介 …… 7
- 「年次有給休暇取得促進期間」…………… 7
- 愛知労働局からのお知らせ「全国労働衛生週間」で啓蒙活動 8
- 産業保険フォーラムinあいち2026…………… 9
- 愛印工組(人材育成・経営委員会)「印刷現場の職長教育」開催 10
- 愛印工組:CSR・ブランディング委員会「JPPS中間講習会」開催…10
- 【ご案内】 令和8年度後期
鉛・有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(特殊健診) …11
- お知らせ 経済産業省・中部経済産業局
価格転嫁・取引適正化(取適法)ルールの説明会開催 ……11
- PICKUP NEWS
- 日印産連「社会責任報告書2026」発行 ……………12
- 印刷品質の安定と生産性向上へ Japan Color認証制度 ……12
- 日印産連 グリーンプリンティング認定制度各賞決定……………12
- 日本郵便 来年の「年賀はがき」発行枚数5億5593万枚 ……13
- 第68回CATALOGUE Fair ～全国カタログ展～作品募集 ……13
- 愛印工組 第10回親睦ゴルフコンペ……………14
- 光文堂開催 Postpress Value Doors2026
「第50回最新製本省力化機材展」……………14

人に 社会に 想いを カタチに

O//O 愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します——成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、

これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、

独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が

あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM

「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

RMGT リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

RMGT-CSPIの詳細については、こちらをご覧ください。
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/>



SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性能が更に進化。ナイフと
バックゲージの速度が向上し、クラン
プ上昇安全機能を搭載。AIとの連携
(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

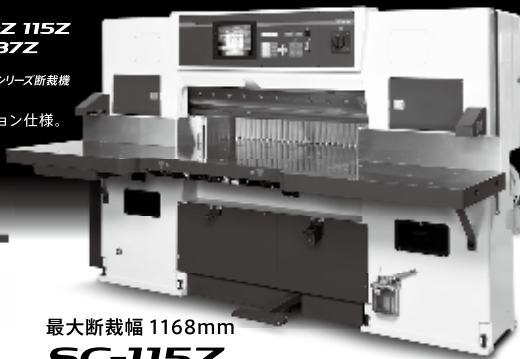
SC
100Z 115Z
137Z
SERIES SCシリーズ断裁機



最大断裁幅 1030mm
SC-100Z



最大断裁幅 1370mm
SC-137Z



最大断裁幅 1168mm
SC-115Z

Safety
Speedy
Smart

ITOTEC

CIP4
CIP4に対応
(オプション)

ITOTEC
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>
e-mail info@itotec.co.jp

本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495
[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台



巻頭言

「小さな一歩から、未来をつくる」

CSR・ブランディング委員長 鈴木 裕一

本年7月、東京で開催された「ペーパーサミットジャパン 2026」に、愛知県印刷工業組合からも多くの会員企業が参加しました。全国から紙を起点とした商品、技術、体験、そして社会への提案が集まり、紙や印刷が持つ可能性を実感する機会となりました。

一方で、どれほど優れた技術や商品があっても、ただ並べているだけでは価値は伝わりません。「誰のために、何を考え、どのような工夫を重ねて生み出したのか」——そこまで含めて言葉にし、体験として届けること。これこそがブランディングそのものです。

ブランディングとは、単にロゴやデザインを整えることではありません。「自分たちは何者で、社会にどのような価値を届ける会社なのか」を見つめ直し、社内外へ一貫して発信していく取り組みです。

同様に CSR も、特別な社会貢献活動だけを指すものではありません。地域との関わり、環境への配慮、働く人を大切にすること。日々の事業を通じて社会との接点をつくるのが第一歩となります。

現在、私たち CSR・ブランディング委員会では、令和9年度に開催する第三回「ワクワクふりんと博覧会(ワクワク)」に向けた準備を進めています。今回の第三回は過去の成果を踏襲するだけの場にはせず、「誰に、何を、どのように伝えるのか」を改めて問い直し、再設計していきます。

ワクワクりは、一般の方には印刷の社会での役割を楽しむ伝える場であると同時に、自社の強みを再発見する場でもあります。

「自社では当たり前の技術が、来場者には大きな驚きになる」

「子どもたちの笑顔から、自らの仕事の価値を再認識する」

「クリエイターとの出会いから、新しいアイデアが芽生える」

実際に、過去の参加をきっかけに新商品や新事業を生み出し、次のステージへ踏み出した企業も生まれています。

そうした経験を持つ企業にはさらに一歩進んだ挑戦を期待するとともに、まだ踏み出せずにいる企業を牽引し、ノウハウを共有しながら支えていただきたいと思います。会員同士が学び合い、高め合う関係性を築くこと——これこそが、組合だからこそ生み出せる大切な価値です。

「既存の仕事が減っている」「この先どうなるのか不安だ」と感じながらも、動けずにいる企業にこそ関わっていただきたいのです。ブランディングも新しい挑戦も、すぐに成果が出るものではありません。しかし、動き出しが遅れるほど、自社の強みを見つめ直し、新しい価値を育てることは難しくなっていきます。

変化をただ待つのか。それとも、小さくても自ら動き始めるのか。この違いが、数年後に大きな差となって表れます。

まだ答えが見つからない会社には、このワクワクりをきっかけに一歩を踏み出してほしい。すでに動き始めた会社には、その体験を次の仲間へつないでほしい。第三回ワクワクりを、会員企業がともに新しい一歩を生み出す場にしたいと考えています。

皆さんとともに、愛知の印刷産業の新しい未来を切り拓いていきましょう。



お客様の可能性を引き出す印刷現場での
働き方改革をご提案します。



専任者不要

「スマートに働く」
スキルレスオペレーション

作業の効率化

「無駄のない」
シンプルな印刷プロセス

受注体制の拡充

「アイデアの具現化」
高品質を生むテクノロジー



AccurioPress
C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-1-1 広小路本町ビル7階
プロフェッショナルプリント事業部プロフェッショナルプリント事業部中日本営業部



共に印刷の未来を創る
つながるプリントラボ
<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>

■最低賃金が決まりました

愛知県の最低賃金は1,195円(55円アップ)

最高額は東京の1,280円、次いで神奈川の1,279円、大阪の1,231円
最低額は宮崎の1,085円、沖縄、高知の1,086円

■10月1日より順次発効

令和8年度の「最低賃金」が決まった。厚生労働省は、都道府県労働局に設置されている地方最低賃金審議会が答申した令和8年度の地域別最低賃金の改定額を取りまとめ公表した。これは、厚生労働大臣の諮問機関である中央最低賃金審議会が示した「令和8年度地域別最低賃金改定の目安について」などを参考に、各地方最低賃金審議会が調査・審議して答申した結果を取りまとめたものになる。この答申された改定額は、都道府県労働局での関係労使からの異議申出に関する手続きを経たうえで、都道府県労働局長の決定により、令和8年10月1日から令和8年12月2日までの間に順次発効されることになっている。

■地方最低賃金審議会の答申ポイント

47都道府県で54円～65円の引き上げ(引き上げ額が65円は1県、64円は1県、63円は2県、62円は2県、61円は4県、60円は4県、59円は5県、58円は4府県、57円は7県、56円は11道県、55円は3県、54円は3都府県)。

改定額の全国加重平均額は1,177円(昨年度1,121円)。全国加重平均56円の引き上げは、昭和53年度に目安制度が始まって以降2番目の高さ。最高額(1,280円)に対する最低額(1,085円)の比率は84.8%(昨年度83.4%、この比率は12年連続の改善になる)。

■最低賃金改定の目安

最低賃金は、都道府県の経済実態に応じて全都道府県をA・B・Cの3ランクに分けて、引き上げ額の目安を提示している。Aランク54円、Bランク56円、Cランク56円となっている。現在、Aランク6都府県、Bランク28道府県、Cランク13県となっている。参考までに、各都道府県に適用される目安のランクを挙げてみた。

【Aランク(54円)】埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪。

【Bランク(56円)】北海道、宮城、福島、茨木、栃木、群馬、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、三重、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、福岡。

【Cランク(56円)】青森、岩手、秋田、山形、鳥取、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮城、鹿児島、沖縄。

■最低賃金：最高額と最低額

令和8年度の最低賃金最高額は、東京の1,280円(昨年1,226円)、神奈川の1,279円(同1,225円)、大阪の1,231円(同1,177円)、埼玉の1,196円(同1,141円)、そして、愛知・

千葉の1,195円(同1,140円)が続く。一方、最低額は、宮崎県の1,085円(同1,023円)、沖縄・高知の1,086円(同1,023円)、長崎の1,087円(同1,031円)となっている。ちなみに、最高額1,280円と最低額1,085円の差は195円(同203円)となった。

※「過重平均」とは、賃上げの影響を受ける組合員の数を計算に反映させ、実際の賃上げ額の平均が分かる。金額ごとに人数をかけることを統計学で過重(ウエイト)ということからこの呼び方がされる。

■最低賃金制度の概要【参考資料】

【最低賃金制度とは】

最低賃金制度とは、最低賃金法に基づき、国が賃金の最低限度を定め、使用者はその最低賃金額以上の賃金を支払わなければならないとする制度。

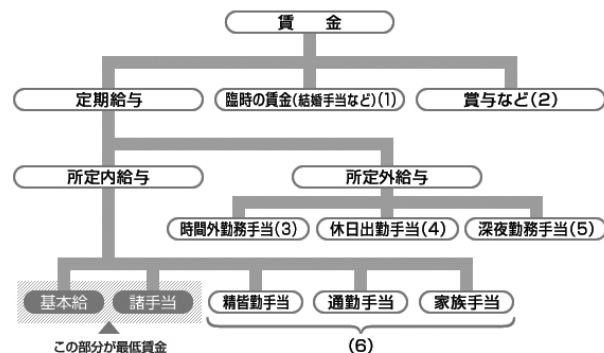
【最低賃金の種類】

最低賃金には、地域別最低賃金及び特定最低賃金の2種類がある。なお、地域別最低賃金及び特定最低賃金の両方が同時に適用される場合には、使用者は高い方の最低賃金以上の賃金を支払わなければならない。

【最低賃金の適用される労働者の範囲】

地域別最低賃金は、産業や職種に関わりなく、都道府県内の事業所で働くすべての労働者とその使用者に対して適用される。特定最低賃金は、特定地域内の特定の産業の基幹労働者とその使用者に対して適用される。

最低賃金の対象



(1)～(6)の賃金は最低賃金の対象とならない賃金

【派遣労働者への適用】

派遣労働者には、派遣先の最低賃金が適用される。

【最低賃金の対象となる賃金】

最低賃金の対象となる賃金は、毎月支払われる基本的な賃金。実際に支払われる賃金から一部の賃金(割増賃金、精皆勤手当、通勤手当、家族手当など)を除いたものが対象となる。

【最低賃金額以上かどうかを確認する方法】

最低賃金以上となっているかどうかは、賃金額を時間当たりの金額に換算し、最低賃金(時間額)と比較する。

●時間給の場合：時間給 $\geq$ 最低賃金額(時間額)

●日給の場合：日給 $\div$ 1日の所定労働時間 $\geq$ 最低賃金額

●月給の場合：月給 $\div$ 1か月平均所定労働時間 $\geq$ 最低賃金額(時間額)

令和8年度 地域別最低賃金(全国一覧)

都道府県名	ランク	目安額	答申された改定額【円】(※1)	引上げ額【円】	目安差額	発効日(予定)(※2)
北海道	B	56	1,131 (1,075)	56	±0	令和8年10月1日
青 森	C	56	1,090 (1,029)	61	+5	令和8年10月29日
岩 手	C	56	1,090 (1,031)	59	+3	令和8年12月1日
宮 城	B	56	1,098 (1,038)	60	+4	令和8年10月1日
秋 田	C	56	1,090 (1,031)	59	+3	令和8年10月14日
山 形	C	56	1,092 (1,032)	60	+4	令和8年10月30日
福 島	B	56	1,094 (1,033)	61	+5	令和8年10月16日
茨 城	B	56	1,136 (1,074)	62	+6	令和8年10月18日
栃 木	B	56	1,125 (1,068)	57	+1	令和8年10月1日
群 馬	B	56	1,120 (1,063)	57	+1	令和8年10月3日
埼 玉	A	54	1,196 (1,141)	55	+1	令和8年10月1日
千 葉	A	54	1,195 (1,140)	55	+1	令和8年10月1日
東 京	A	54	1,280 (1,226)	54	±0	令和8年10月1日
神奈川	A	54	1,279 (1,225)	54	±0	令和8年10月1日
新 潟	B	56	1,108 (1,050)	58	+2	令和8年10月1日
富 山	B	56	1,119 (1,062)	57	+1	令和8年10月1日
石 川	B	56	1,113 (1,054)	59	+3	令和8年10月3日
福 井	B	56	1,112 (1,053)	59	+3	令和8年10月4日
山 梨	B	56	1,113 (1,052)	61	+5	令和8年11月1日
長 野	B	56	1,117 (1,061)	56	±0	令和8年10月2日
岐 阜	B	56	1,121 (1,065)	56	±0	令和8年10月1日
静 岡	B	56	1,154 (1,097)	57	+1	令和8年10月15日
愛 知	A	54	1,195 (1,140)	55	+1	令和8年10月1日
三 重	B	56	1,143 (1,087)	56	±0	令和8年10月1日
滋 賀	B	56	1,136 (1,080)	56	±0	令和8年10月3日
京 都	B	56	1,180 (1,122)	58	+2	令和8年11月16日
大 阪	A	54	1,231 (1,177)	54	±0	令和8年10月1日
兵 庫	B	56	1,172 (1,116)	56	±0	令和8年10月1日
奈 良	B	56	1,107 (1,051)	56	±0	令和8年10月4日
和歌山	B	56	1,101 (1,045)	56	±0	令和8年10月3日
鳥 取	C	56	1,090 (1,030)	60	+4	令和8年10月3日
島 根	B	56	1,092 (1,033)	59	+3	令和8年10月10日
岡 山	B	56	1,104 (1,047)	57	+1	令和8年10月2日
広 島	B	56	1,141 (1,085)	56	±0	令和8年10月11日
山 口	B	56	1,101 (1,043)	58	+2	令和8年10月8日
徳 島	B	56	1,103 (1,046)	57	+1	令和8年11月1日
香 川	B	56	1,092 (1,036)	56	±0	令和8年10月1日
愛 媛	B	56	1,093 (1,033)	60	+4	令和8年11月1日
高 知	C	56	1,086 (1,023)	63	+7	令和8年10月29日
福 岡	B	56	1,114 (1,057)	57	+1	令和8年10月4日
佐 賀	C	56	1,095 (1,030)	65	+9	令和8年11月15日
長 崎	C	56	1,087 (1,031)	56	±0	令和8年11月2日
熊 本	C	56	1,092 (1,034)	58	+2	令和8年12月1日
大 分	C	56	1,096 (1,035)	61	+5	令和8年11月1日
宮 崎	C	56	1,085 (1,023)	62	+6	令和8年10月24日
鹿児島	C	56	1,090 (1,026)	64	+8	令和8年10月25日
沖 縄	C	56	1,086 (1,023)	63	+7	令和8年12月2日
全国加重平均			1,177 (1,121)	56	+1	-

※1カッコ内の数字は改定前の地域別最低賃金

※2発行日は答申公示後の意義の申し出の状況等により変更となる可能性がある。

2026年「9月印刷の月」記念式典

「9月印刷の月」
記念式典

印刷功労賞・印刷振興賞・特別賞など25名1団体を表彰 特別講演は作家の今村省吾氏を招聘

■印刷産業の重要性を社会に発信

一般社団法人日本印刷産業連合会（日印産連、大橋輝臣会長）では、9月9日、東京・千代田区のホテルニューオータニ「鶴の間」において、「2026年9月印刷の月」記念式典を開催し日印産連表彰者25名1団体を表彰した。全国から約400名が参加した。

式典の冒頭、挨拶に立った大橋会長は、「9月印刷の月は、印刷産業の社会的役割を改めて見つめ直し、未来への歩みを共有する機会となれば幸いである。印刷産業が社会を支えるインフラとしての役割を担い、顧客企業の変革や地域経済を支える基盤産業であるという原点を改めて確認したい。今後も、さまざまな情報発信を通じ、社会の持続可能な成長を支える価値創造産業として、印刷産業の重要性を社会に示して行きたい」と、印刷産業の存在意義と役割を訴えた。

来賓祝辞では、経済産業省商務・サービスグループ商務・サービス政策統括調整官寺本恒昌氏が「印刷産業は国民生活を支える基盤産業である。全国各地に根差し事業を展開する印刷産業の活躍なくして、日本経済の成長はない」と強調した。また、「原材料・エネルギー価格の上昇を踏まえ、価格転

嫁・取引適正化を推進するとともに、官公需の適正化にも取り組む」などの考えを示した。最後に、「地域から日本を元気にしていただくことを強く期待している」と述べた。

次いで日印産連表彰に移り、印刷産業功労賞10名、印刷振興賞15名、特別賞1団体を表彰した。受賞者代表謝辞は、印刷功労賞の内藤正和氏（内藤プロセス㈱代表取締役）が行なった。内藤氏は「街に出ると、広告を始めとした印刷業の仕事がたくさん溢れている。既存製品を見ながら、新たな提案を試みて、仕事を続けていこうという思いをいつも持っている。印刷10団体も繋がりを強固にしながら、さらなる向上を目指し、印刷文化の発展に邁進していただきたい」と、印刷産業発展のための連携を呼び掛けた。

式典終了後、懇親会が持たれ、情報交換に華が咲いた。最後には、10団体代表が壇上に並び中締めが行なわれた。

■印刷は文字を刷るだけでなく 思いを紙に載せる仕事

式典に先立って行なわれた特別講演では、作家・時代小説家の今村省吾氏が講師を務めた。「印刷が支える本の未来を考える」をテーマに、本や書店への熱い思いを語った。作家でも

盛功社の創業は1889年。2023年に135周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料
株式会社 盛功社
〒461-0014 名古屋市中区栄木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

高精細印刷と PUR製本の最強タッグ

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

大日印刷

検索

愛印工組・西三河支部 「9月印刷の月」で地元紙にPR広告 大日印刷を紹介

愛印工組・西三河支部（山本芳弘支部長）では、一般社団法人日本印刷産業連合会（日印産連）が提唱している、印刷産業の魅力を広くPRする「9月印刷の月」の活動に賛同し、地元岡崎市に本社を置く日刊紙「東海愛知新聞」にPR広告を出稿、支部加盟の印刷会社19社をPRした（9月9日付け）。

「9月印刷の月」とは、日印産連が毎年9月を印刷の月と定め、会員10団体及び関連企業などと協力し、一般社会に印刷産業のイメージアップと、更なる認識と理解を深めてもらうことを目的に行なわれているイベントになる。

今回、西三河支部が行なったPR広告は、新聞紙面1面15段の内4段を使い、*9月印刷の月、日本印刷産業連合会が推進する印刷の魅力を伝える月間です。との説明と共に、同支部19社の社名、住所、電話番号が掲載されている。また、紙面では、「今月は印刷の月」と題し、岡崎市幸田町にある大日印刷㈱を訪ね、「自社一貫体制の本づくりを強みとしながら、情報発信の企業と連携して斬新なプロジェクトに取り組む」姿をルポしている。

「9月印刷の月」のPR広告と大日印刷㈱の企業ルポを掲載した東海愛知新聞

あり書店のオーナーを務める同氏は、自身の本との出会いや書店オーナーになった経緯などを語りつつ、「50年後を生きる子供たちに*紙の本を残して欲しかった。といわれるような手遅れの状態になりたくない。紙の本の価値を決めるのは自分たちではなく、未来を生きる人たちである」とした上で、紙の本を残す重要性を強調した。また、紙が持つ価値や可能性を示しながら印刷業に触れ、「印刷は単に文字を紙に刷るのではなく、想いを紙に載せる仕事だ」と想いを表した。

（資料提供：㈱印刷出版研究所）



記念講演をする
今村省吾氏

「年次有給休暇取得促進期間」

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

毎年10月を「年次有給休暇取得促進期間」として、有給休暇取得のキャンペーンが集中的に行なわれている。令和10年までに年休の取得率70%とすることが、政府の目標に掲げられているが、令和6年の年休の取得率は66.9%と昭和59年以降過去最高となったものの、目標には届いていない。ただ、愛知県においては、令和6年の取得率が71.9%と過去最高を更新している。

働く人のワーク・ライフ・バランスの実現のためには、企業などが自社の状況や課題を踏まえ、年休が取得しやすい環境づくりを継続していくことが重要になる。愛知労働局では、計画的な業務運営や休暇の分散化による年次有給休暇の計画的な付与、また、労働者の様々な事業に応じた柔軟な働き方・休み方による時間単位の年次有給休暇制度の活用など、積極的に取得するための資料を作成、その利用を促している。

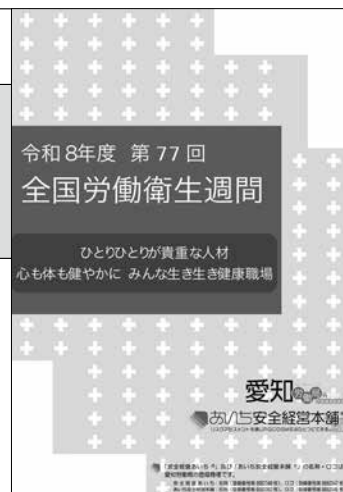
●年次有給休暇取得特設サイト

<https://work-holiday.whlw.go.jp/kyuuka-sokushin/>

■愛知労働局からのお知らせ

「全国労働衛生週間」で 啓蒙活動

安全衛生に関するトピックス ● 職場における熱中症対策 ● 一般健康診断の検査項目 ● 職場のメンタルヘルス対策 ● 産業医の辞任 ● 治療と就業の両立支援 ● 新たな化学物質管理 ● 職場における腰痛予防など



「全国労働衛生週間」リーフレット

愛知労働局では、「第77回全国労働衛生週間」に併せ、愛知労働局版リーフレットを作成。広く事業場に配布し、労働衛生に関する啓蒙に努めている。リーフレットには、「全国労働衛生週間」を迎えるにあたって、労働局長のメッセージ、「全国労働衛生週間実施要綱」「業務上疾病発生状況」「安全衛生に関するトピックス」「愛知労働局の推進する取り組み」のほか、産業保険フォーラム、安全経営あいち推進大会などの案内がある。以下、概要を紹介。

愛知県内における業務上疾病

リーフレットの冒頭、久地良俊二愛知労働局長が、「職場の衛生管理水準は着実に向上しているが、今なお多くの業務上疾病が発生している。令和7年の愛知県内における休業4日以上の業務上疾病の件数は、前年の532件から16.4%増加し619件となっており、そのうち最も割合が高いのは、災害性腰痛の356件であり対前年比で43人増加、次いで熱中症は119件と対前年比31件増加している。また、令和7年度の長時間労働などを原因とする脳・心臓疾患や精神障害による労災認定件数は99件と増加傾向が続いている。さらに、定期健康診断の有所見率は上昇傾向にあり、令和7年度の有所見率は56.3%と過去最高値で、労働者の半数が何らかの所見を抱えながら働いている」と報告している。

このような状況下、愛知労働局では、令和5年度より令和9年度までの5か年を計画期間とする第14次労働災害防止推進計画を策定し、「総合的な健康対策」を重点事項の一つとしている。この取り組みをさらに高めるため、「事業場の皆様におかれては、全国労働衛生週間を契機として、現在行なわれている労働衛生管理、取り組みなどを再確認し、多様化する労働衛生上の課題に取り組むための機会としていただきたい」と、配慮を促している。

安全衛生に関するトピックス

■「職場における熱中症対策が強化」(労働安全衛生規則が一部改正):令和7年4月16日公布/令和7年6月1日施行
熱中症による死亡・重篤災害防止のため、熱中症の恐れが

ある場合、迅速な対応が可能となるよう、事業者に対して「早期発見のための体制整備」「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」「関係労働者への周知」が義務付けられた。

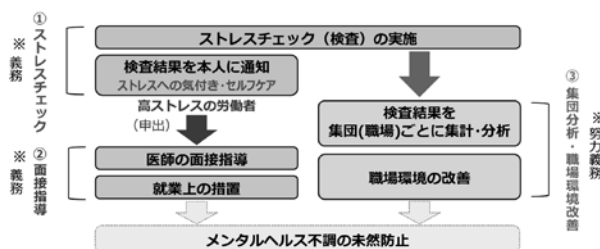
■「一般健康診断の検査項目が改定」(労働安全衛生規則などが一部改正):令和8年4月28日公布/令和9年4月1日施行
労働安全衛生法で義務付けられている一般健康診断(うち、雇用時の健康診断、定期健康診断、特定業務従事者の健康診断および海外派遣労働者の健康診断)について、検査項目などが改正された。

■「職場のメンタルヘルス対策が強化」(労働安全衛生法などが一部改正):令和7年5月14日公布/令和10年4月1日施行

今まで努力義務とされていた労働者数50人未満の事業所についても、ストレスチェックや高ストレス者から申し出があった場合の医師による面接指導が義務付けられる。また、ストレスチェック結果の集団分析(努力義務)に関しては、労働者のプライバシー保護などの観点から、個人を特定できない方法で実施する必要がある。(令和9年4月1日施行)労働者数50人未満の事業場におけるストレスチェックの円滑な実施を図るため、「小規模事業場ストレスチェック制度実施マニュアル」を作成。

■「産業医の辞任時等の報告」(労働安全衛生規則が一部改正):令和8年4月28日公布/令和8年8月1日施行

ストレスチェック制度の大まかな流れ



①労働者に、自身のストレスへの気づき・セルフケアを促すとともに、
②高ストレス労働者には、医師の面接指導の機会を提供、医師の意見を踏まえ必要な就業上の措置、③集団分析を通じて職場ごとのストレス要因を把握し、職場環境の改善につなげる。

労働者数50人以上の事業所では、労働安全衛生法に基づき産業医を選任する義務がある。今般、労働安全衛生規則が改正され、産業医が辞任、解任又は退任があった場合でも、所轄の労働基準監督署長へ遅滞なく報告することが新たに義務付けられた。

■「治療と就業の両立支援指針」(労働施策総合推進法が一部改正): 令和7年6月11日公布、令和8年2月10日指針公示、令和8年4月1日施行

高齢者の就労の増加や医療技術の進歩といった背景から、病気を治療しながら仕事をする労働者は年々増加している。こうした状況を踏まえ、労働施策総合推進法が改正され、職場における治療と就業の両立を支援する取り組みが事業者の努力義務となった。

■「新たな化学物質管理」(労働安全衛生法などが一部改正): 令和4年5月31日ほか公布、同日順次施行

労働安全衛生規則などの改正が行なわれ、化学物質管理の仕組みが、特化則、有規則などに基づく個別具体的な規制から、自律的な管理を基軸とする規制へ大きく転換されることになった。自律的な管理を行なうためにはその基礎となるリスクアセスメントを適切に行なうことが不可欠になる。また、化学物質による健康障害防止対策の更なる推進のため、令和7年5月に労働安全衛生法が改正された。改正のポイントは以下の通り。

①化学物質の譲渡・提供時における危険性及び有害性情報の通知制度の履行確保(令和12年4月1日施行): 通知義務違反に対する罰則が新設され、通知事項を変更した場合の再通知が義務化された。

②営業秘密である成分に係る代替化学品名等の通知(令和8年4月1日施行): SDSについて、化学物質の成分名に企業の営業秘密情報が含まれる場合は、有害性が相対的に低い化学物質に限り通知事項のうち成分名について、代替化学名などでの通知が認められることになった。

③個人ばく露測定の精度担保(令和8年10月1日施行): 個人ばく露測定の測定精度を担保するため、個人ばく露測定を作業環境測定の一部として位置づけ、有資格者(必要な講習を受講した作業環境測定士等)が作業環境測定基準に従って行なうことが義務となった。

■「職場における腰痛予防対策」

災害性腰痛は、令和7年に愛知労働局管内で発生した業務上の疾病の約6割を占めている。腰痛の発生要因には、動作要



meikami
メイカミ
〒461-0018名古屋市中村区主税町4-83
名古屋紙商事株式会社
TEL:052-931-2221
FAX:052-932-1418

産業保険フォーラム in あいち2026

愛知労働局、愛知県などが共催して、「産業保健フォーラム in あいち2026」が開催される。

●日時: 11月19日(木) 13:30 ~ 15:30

●会場: ウィンクあいち5F小ホール2(名古屋市中村区名栄4-4-38(別途、YouTubeでのWeb配信も行なう))

●参加費: 無料(会場参加・Web参加どちらも申し込みが必要)

●プログラム: 特別講演とパネルディスカッション

【特別講演】職場の健康課題を解決するための情報活用～見えないリスクを見える化するために～(仮)

講師: 土居朋子氏(㈱メイダー人事総括部/保健師)

【特別講演】ストレスチェックの結果、その後どうしていますか ～職場改善に繋げるために考えたいこと～(仮)

講師: 水越真代氏(健康企業推進サポート シャイニング・ライフ代表/労働衛生コンサルタント)

【パネルディスカッション】講師を交えたパネルディスカッション「ストレスチェック制度のリアルを探る」

●主催: 愛知労働局、愛知県、名古屋市、(独)労働者健康安全機構愛知産業保健総合支援センター、(公社)愛知労働基準協会、愛知健康安全交流会

※詳細は、「産業フォーラム in あいち2026」で検索

因、環境要因、個人的要因、心理・社会的要因があり、事業者はこれら多面的な要因を的確に把握し、各事業場の作業実態に即した対策を講じる必要がある。

「職場における腰痛予防対策指針」に基づき、労働衛生管理体制を整備した上で3管理(産業環境管理、作業管理、健康管理)及び労働衛生教育に総合的かつ継続的に取り組む。

※愛知労働局版「全国労働衛生週間」の詳細は、愛知労働局ホームページから検索が可能。

※「全国労働衛生週間」とは、厚生労働省が10月1日から7日までの1週間を、労働者の健康管理や職場改善など、労働衛生に関する国民の意識を高め、職場での自主的な活動を促進して労働者の健康を確保するなどを目的に、昭和25年から実施しており今年で77回目を迎える。



創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。———
デザイン～印刷まで
トータルサポート
お気軽にお問合せ下さい。
————— カラー印刷全般 —————
株式会社 プロスペック
〒453-0855
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地
TEL:052)482-3117(代表)
FAX:052)482-3118
info@ps-prospec.co.jp https://www.ps-prospec.co.jp/

「印刷現場の職長教育」開催

グループワークで意見交換・情報交換

愛印工組(人財育成・経営委員会:堺貴弘委員長)は、8月28・29の両日、メディアージュ愛知会議室において、鳥原久資氏(㈱マルワ)を講師に招聘し、令和8年度「印刷現場の職長教育」を行なった。この職長教育は、労働安全衛生法の改正により、令和5年4月1日から職長教育の対象業種に「製本及び印刷物加工業」が追加されたことにより実施が義務付けられた。労働安全衛生法では、職長教育について、「経営者は、自社の各現場において作業中の労働者を直接指導・監督する立場の社員(職長)に対して『職長教育』(12時間以上の安全衛生教育)を実施しなければならない」と定めている。愛印工組では、職長教育の義務化に伴って、施行年の8月に第1回の「職長教育」を行なって以来、毎年開催を続けている。

今回の「印刷現場の職長教育」は、両日とも9時からスタートし16時30分まで、講習時間は13時間(6.5時間×2日)に及んでいる。この教育は、危険を伴う現場での作業を安全に行なうための教育となり、指定されている内容は一般的な安全教育となっているが、愛印工組では、印刷現場に即した事例と副教材を用意してグループワークを取り入れながら研修を行なっている。グループワークでは、意見交換、情報交換なども行ない、他社との交流が少ない現場担当者にとっても貴重な機会となっている。

研修では、「部下を持てば法律上の職長であり、職長の安全衛生上の責務には次のことがある」として、12のポイントが示された。それは、●指導教育、向上心●人間関係の向上●能力の把握●安全確認●快適な職場づくり●職場の整理整頓●作業の分解●5W1H(When・Where・Who・What・Why・How)●異常の早期発見●再発防止●リスクの見積り●改善提案などになる。

職長の安全衛生業務と三大責務については、安全衛生／生産性の確保／職場の人間関係が挙げられた。具体的には、●安全衛生の確保はより安全に●生産性の確保はより良く(品



職長教育の模様

質)、より安く(コスト)、より早く(納期)●職場の人間関係の保持は道徳、躰(しつけ)、態度などが示された。さらに、その他の行為として、●職場会議の主催●作業者の資格・能力を考慮した適正配置●非常時・緊急時の措置、ルートを整える●部下の健康状態を把握するなどがある。

職長の法的責務の範囲として、「安全衛生管理で職長に権限が与えられた業務は、責任を持って推進する。そして、法律上その法人又は人の業務に関して、労働安全衛生法違反をした場合は、その行為者として責任が伴ってくる」ことが指摘された。

【参考】

職長教育の内容【講習科目と講習時間】

- 作業方法の決定及び労働者の配置(作業手順の定め方、労働者の適正な配置の方法)…2時間。
- 労働者に対する指導又は監督の方法(指導及び教育、作業における監督及び指示の方法)…2時間30分。
- 危険性又は有害性などの調査及びその結果に基づき講ずる措置(危険性又は有害性などの調査の方法、危険性又は有害性などの調査の結果に基づき講ずる措置、設備・作業などの具体的な改善の方法)…4時間。
- 異常時における措置(異常時における措置、災害発生時における措置)…1時間30分。
- その他、現場監督として行なうべき労働災害防止活動(作業に関わる設備及び作業場所の保管管理の方法、労働災害防止についての関心の保持及び労働者の創意工夫を引き出す方法)…2時間。
- 意見交換等…1時間。

愛印工組:CSR・ブランディング委員会

「JPPS中間講習会」開催

情報保護体制の取得・更新

愛印工組CSR・ブランディング委員会(鈴木裕一委員長)は、9月3日メディアージュ愛知3F会議室において、「JPPS中間講習会」を開催。講習会は、現在JPPSを取得している企業を対象に行なわれた。講習会では、「営業顧客データ、社員データなど、個人情報をもつていたら個人情報の対象者になる」ことを皮切りに、個人情報の事故、取り扱い方法と管理、取扱者・従業員への周知、漏えい防止の管理体制など、広範囲にわたりレクチャーを受けた。

このJPPS制度の概要と取得について紹介してみる。

個人情報を取り扱う印刷業では、取引先から法令遵守は言うに及ばず個人情報について適切な保護体制を取っていることが求められるようになり、プライバシーマーク(Pマーク)や情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)などを取得する印刷会社が多くなってきた。しかし、時間・費用・管理体制などから全ての会社が取得するのは難しい状況にあることから、印刷関連業者を対象とした対外的に評価が得られる情報保護基準として、東京都印刷工業組合が立ち上げた制度が、「日本印刷個人情報保護体制認定制度(JPPS:Japan Print Privacy System)」になる。その後、全日本印刷工組合連合会

【ご案内】

令和8年度後期

鉛・有機溶剤・特定化学物質 取扱者健康診断(特殊健診)

労働安全衛生法において、鉛・有機溶剤・特定化学物質の取扱者に対して、【事業者は原則として、雇入れ時、当該業務への配置替えの際、及び、その後通常は6か月以内ごとに1回、定期にそれぞれ特別の健康診断(特殊健診)を実施しなければならない】と義務付けられています。

愛印工組では、組合員企業所属の該当者の皆さんに、「特殊健診」を継続して受診していただくために、半年に一度ご案内をしています。化学物質を使用されている事業所におかれましては、該当する従業員さんの受診を必ず実施されるようご手配をお願いいたします。

なお、検査項目、検査内容、検査費用などの詳細は、下記健診機関へ問い合わせてください。

【組合がご案内する健康機関】

(一社)オリエンタル労働衛生協会(担当:徳永氏)

〒461-0001名古屋市千種区今池1-8-4
TEL052(732)2200、FAX052(733)7100

※貴社特定の検診機関がない場合は上記期間をご利用ください。なお、実施日時、場所につきましては健診機関と貴社とで調整し決定してください。

※何かご不明の点がありましたら愛印工組事務局:勝野までご連絡ください。

【注】平成26年11月の特定化学物質障害予防規則(特化則)改正により、「有機溶剤取扱者健康診断」の対象物質であった指定有機溶剤のうち、下記の10物質が「特定化学物質健康診断(特化則健診)」の対象物質に変更されていますのでご注意ください。

※特化則検査項目に変更された物質名

スチレン(スチロール)、ジクロロメタン(別名:二酸化メチレン)、メチルイソブチルケトン、トリクロロエチレン(トリクレン)、1, 4-ジオキサン、クロロホルム、四塩化炭素、1, 2-ジクロロエタン(別名:二酸化エチレン)、テトラクロロエチレン(パークレン)(別名:パークロルエチレン)、1, 1, 2, 2-テトラクロロエタン(別名:四塩化アセチレン)

(全印工連)の認定制度となった。以前は、組合員を対象に実施されてきたが、現在では、非組合員も取得可能になっている。

この制度の対象内容は、印刷関連業者向けの情報保護の取得・更新になる。新規取得の場合は、通常、月1回・数時間の講習会(全5回)とヒアリングを経て申請を行なう。更新の場合は、認定取得企業を対象とした更新講習会(約2時間)が適宜開催される。要件を満たし認定された企業には、全印工連から「許諾証」、「認定番号」が発行され、「JPPSマーク」の使用が可能になる。

認定の有効期間は2年間。認定1年後に中間講習、認定2年後に更新講習の受講が必須となっている。

※問い合わせ先、愛印工組(052-962-5771)まで。

お知らせ

経済産業省・中部経済産業局

価格転嫁・取引適正化(取適法) ルールの説明会開催

経済産業省は、適正な価格転嫁・取引適正化に関する説明会・講習会を全国の会場及びオンラインで開催。これは、中小受託取引適正化法(取適法)で禁止している委託代金の支払い遅延、減額、買いたたきなどを防止することを目的に、製造業などに属する委託側企業や受託側企業を対象に行なっている。

【プログラム】

①取適法の概要について(法律の目的、適用対象、委託事業者の義務・禁止事項の確認)

②取引適正化に向けた公正取引委員会の施策について(改正物流特殊指定・支払告知・改定優越GL、知財取引指針)

③取引適正化に向けた中小企業庁の施策について(官公需を含む価格転嫁・取引適正化の取り組み)

④価格転嫁の取り組み等について

【中部地区における日程】

●富山県/日時:10月13日(火)14時~16時、会場:富山県民会館401号室(富山市新総曲輪4-18)

●三重県/日時:11月9日(月)13時30分~15時30分、会場:三重県勤労者福祉会館講堂(津市栄町1-891)

●愛知県/日時:11月18日(水)14時~16時、会場:ウインクあいち18階セミナールーム(名古屋市中村区名駅4-4-38)
(※説明会は満席になりました)

●岐阜県/日時:11月26日(木)13時30分~15時30分、会場:岐阜商工会議所大ホール(岐阜市神田町2-2)

●石川県/日時:12月11日(金)13時30分~15時30分、会場:石川県地場産業振興センター第一研修室(金沢市鞍月2-1)

【申し込み方法】

公正取引委員会ホームページ

HYPERLINK "<https://www.jftc.go.jp/event/kousyukai>"<https://www.jftc.go.jp/event/kousyukai/r8toriteki.html>

※1社につき1申し込み(参加上限2名)、各会場においては開始時間30分前から受付を開始。

【問い合わせ先】

●公正取引委員会中部事務所第二取引適正化調査課:TEL052(228)9460 ●中部経済産業局産業部中小企業課取引適正化推進室:TEL052(951)2860

PICKUP NEWS

日印産連

「社会責任報告書2026」発行

SDGs達成に向け取り組むべき課題

一般社団法人日本印刷産業連合会（大橋輝臣会長、日印産連）は、印刷産業が取り組んでいる社会的責任を業界関係者は勿論、業界関係者以外の人達にも理解してもらえるよう、分かりやすく紹介した「社会責任報告書2026」を刊行した。

報告書の「TOP MESSAGE」で大橋会長は、「持続可能な社会のために、未来に向けた新たな価値創出を」とした一文を寄せ、日印産連の持続可能な社会の実現に向けた取り組みを紹介している。

巻頭特集では「印刷産業環境ビジョン2050の策定」、「サプライチェーン全体における価格転嫁・取引適正化への取り組み」を取り上げている。環境ビジョンでは、持続可能な社会の実現に向け、①脱炭素社会の実現、②循環経済の深化、③自然共生社会の推進など、ビジョン達成に向けての取り組みが紹介されている。また、適正な価格決定と持続可能な取引環境の構築が重要な課題と訴え、取り組みなどの進捗状況が報告されている。

2024から2025年度の活動報告では、SDGsの達成に向け印刷産業として取り組むべき課題を表に掲げ、日印産連と会員10団体と共に行なった活動が報告されている。さらに、新ビジネス創出の支援（新たな価値創出に向けた活動）、事業基盤の強化（適正で誠実な企業行動の推進／地球環境への高い配慮）、業界内外の連携強化、新たな産業イメージの構築と業界内外への発信（社会に向けた情報発信の強化）、印刷産業の社会貢献活動などが纏められている。

※「社会責任報告書2026」はHPから検索可能。

印刷品質の安定と生産性向上へ

Japan Color認証制度

標準印刷認証取得工場181工場

一般社団法人日本印刷産業機械工業会（日印機工）は、日本のオフセット枚葉印刷における標準的な色基準として策定された「Japan Color」の認知・普及を通じ、印刷品質の安定と生産性向上を支援している。従来、印刷業界では印刷会社ごとに独自の印刷色の基準を設けており、同じデータでも印刷会社が変われば色が合わないというのが実情であった。このような状況の中、オフセット枚葉印刷における印刷色の標準的な基準としてISO国際標準に準拠したJapan Colorが策定され、その普及と印刷の標準化を促進し実効性のあるものにするため、公正な第三者機関により認証を行なうJapan Color認証制度が創設された。

Japan Color認証制度は、標準印刷認証・マッチング認証・プルーフ運用認証・プルーフ機器認証・デジタル印刷認証からなる。公表された2026年7月末現在の認定工場数。

●標準印刷認証：標準印刷認証は、印刷工場における印刷機械のメンテナンスと数値管理等によって、安定した品質の印刷物を作成できる工程管理能力について認証する。7月末現在の認証取得181工場。

●マッチング認証：マッチング認証は、標準印刷認証を取得していることを前提に、高度なカラーマネジメント技術を駆使して、印刷物の色を認証基準値の許容幅に入れることができる能力などについて認証する。7月末現在の認証取得39工場。

●プルーフ運用認証：プルーフ運用認証は、デザイン会社や印刷会社が、個々のプルーフ機器（見本出力機器）のメンテナンスや適正な運用を行うことにより、信頼性の高いプルーフ（見本出力物）を安定的に出力できる能力などを認証する。7月現在末現在の認証取得39工場。

●プルーフ機器認証：プルーフ機器認証は、プルーフ機器（見本出力機器）が印刷用途に使用できる信頼性の高いプルーフ（見本出力物）を安定的に出力できる機能があるかを認証する。7月末現在の認証取得128件。

●デジタル印刷認証：デジタル印刷認証は、デジタル印刷機のメンテナンスと数値管理等によって高品質の印刷物を安定的に作成できる運用能力を認証する。7月末現在の認証取得20工場。

【参考】

●Japan Color認証制度取得のメリット

品質や生産性の向上と企業体質の強化へと繋がる。

①印刷品質の安定：お客様に、品質の安定した印刷物をスピーディーに提供できる。

②企業イメージの向上：ISO準拠のJapan colorに基づいた認証を取得することにより、印刷物およびプルーフを作成するうえでの高い能力をアピールできる。

③スキルアップ：標準化を全社的に進めることにより、社員のスキルアップが期待できる。

④コストダウン：標準的な印刷条件を基準に印刷することにより、損紙およびインキ使用量等の削減につながり、生産性向上による経費削減が期待できる。

⑤取引上の利点：印刷基準が顧客等との取引や入札条件などになった場合、有利な取引が可能になる。

日印産連

グリーンプリンティング認定制度各賞決定

GP環境大賞／GPマーク大賞／GP資機材環境大賞

一般社団法人日本印刷産業連合会（日印産連）は、グリーンプリンティング（GP）認定制度の2026年度「GP環境大賞」、「GPマーク普及大賞」、「GP資機材環境大賞」の受賞企業・団体を決定した。

GP 環境大賞は、印刷業界が地球環境への負荷低減に取り組むために創設したGP 認定制度に対して、深く理解し積極的に活用している企業や団体に敬意と感謝の意を込めて贈られる。一般印刷とパッケージ印刷の2部門に分かれており、過

去3回GP境大賞を受賞した企業・団体には、4回目の表彰時にその活動に対して「GP 環境大賞ゴールドプライズ」を贈呈している。

GPマーク普及大賞は、GPマークを表示した印刷物の拡大にもっとも貢献したGP 認定工場を会社単位で表彰する。本賞は、オフセット印刷部門、グラビア・シール・スクリーン印刷部門、製本・表面加工部門の3部門に分けて表彰される。過去3回以上GPマーク普及大賞を受賞した印刷会社には、「GPマーク普及大賞ゴールドプライズ」を贈呈している。

GP資機材環境大賞は、印刷工場環境負荷低減及び作業環境改善に貢献し、GP資機材認定製品を積極的に提供している資機材メーカーに贈られる。

<2026GP認定制度各賞の受賞企業・団体>

【GP環境大賞】

●GP環境大賞ゴールドプライズ：日本航空㈱

●GP環境大賞：[一般印刷の部] ㈱教育芸術社、㈱ファンケル、[パッケージ印刷の部] 国分グループ本社㈱

【GPマーク普及大賞】

●GPマーク普及大賞ゴールドプライズ：㈱KASAMA、㈱北四国グラビア印刷、丸正印刷㈱、六三印刷㈱

●GPマーク普及大賞：[オフセット印刷部門] 宝印刷㈱、㈱文伸、[グラビア・シール・スクリーン印刷部門] ㈱巧芸社、[製本・表面加工部門] (準大賞) ㈱シュウエイ、㈱多田紙工

【GP資機材環境大賞】

資材部門・機材部門ともに該当なし



GP 環境大賞ゴールドプライズの日本航空㈱

日本郵便

来年の「年賀はがき」発行枚数5億5593万枚

〆今年も出しとこ、年賀状、

日本郵便㈱は、2027年（令和9年）用「年賀はがき」について発行概要を発表した。それによると、当初発行枚数は5億5593万枚で、2027年用の当初枚数7億4841万枚に比べ26%減少した。

内訳は、通常の無地（売価85円）が8290万枚、無地・四面連刷り（同340円）が2億344万枚、無地・インクジェット紙（同85円）が2億5175万枚、寄付金付き絵入り全国版（同90円）1076万枚、寄付金付き絵入り地方版（同90円）が583万枚など。

販売は11月2日から。ただし、四面連刷りの年賀はがきは10月13日から前売り渡しを行なう。

日本郵便では、年賀はがきの減少を食い止めようと、「今年も出しとこ、年賀状」をキャッチコピーに、年賀状の価値をより感じてもらえる商品・サービスを展開している。

第68回CATALOGUE Fair ～全国カタログ展～作品募集 締切日：10月21日

一般社団法人日本印刷産業連合会、産経新聞社が主催する第68回CATALOGUE Fair ～全国カタログ展～の作品募集が始まった。カタログは、商品・製品・サービスなどの周知やPRに欠かせない強力な媒体であり、表現技術は日々進化している。全国カタログ展はこうした優秀なカタログを顕彰するコンクールになる。

【募集要項】

●対象作品：2025年10月25日～2026年10月21日までに、日本の印刷会社で受注または印刷された作品を対象とする（過去に同展に応募した作品は出品することはできない）。

●募集部門【図録部門】▼図録（イベント関連の作品集、案内冊子など）、【カタログ部門】▼一般商品（個人向け生活消費財、旅行案内、通販以外のギフト商品など）▼高額商品（耐久消費財、自動車、カメラ、時計、宝飾品、マンション、家など）▼製品（各産業向け資材、住宅設備関連、部品、オフィス事務用品など）▼通販（通信販売用冊子など）▼各種案内（会社案内、学校案内、施設案内、社史、年史など）▼PR誌・フリーペーパー（企業・事業PR誌、商品・サービスPR誌、会報誌、タウン誌、無料配布の情報誌、不動産案内など）▼各種報告書（CSR・環境報告書、SDGs関連報告書、統合レポートなど）。

●出品料：1冊につき10500円（税別）

●作品募集締切：2026年10月21日（水）（「作品送付先」到着日）

●作品送付先：〒335-0031埼玉県戸田市美女木6-2-12
㈱KLP「第68回全国カタログ展」審査会事務局（TEL048-485-8738）

※詳細は、第68回全国カタログ展で検索。

令和9年用年賀はがきなどに関する主なトピックス

【退出傾向へ対応】●販売終了日の延伸＝顧客の退出傾向や年賀状の返信のニーズに合わせ販売終了日を1月15日まで延伸●年賀状差出時期の変更＝引き受け開始日を12月20日に繰り下げ。年賀状を元旦に届けるために、差出日目安を12月27日に繰り下げ。

【サービスの展開】●購入者特典キャンペーン＝郵便局窓口で年賀はがきを購入した人を対象に、抽選で「ゆうゆうポイント」が当たるキャンペーンを実施●押し活年賀＝全国のご当地キャラクターなどに年賀状を送りたい人のために、送り先やリンク先を「郵便年賀.jp」に掲載●Google Geminiを活用した年賀状＝Google社が開発・提供する「Gemini」を活用した施策を展開予定●お手軽年賀はがき＝人気キャラクターや新年にふさわしい干支の絵柄、挨拶文を印刷した「お手軽年賀はがき」を販売●新規テンプレート＝様々なシーンで楽しめる年賀状テンプレートを「郵便年賀.jp」に用意。例えば、「名刺年賀」「ぬりえ年賀」「方言年賀」「受験生応援年賀キット」など。

愛印工組

第10回親睦ゴルフコンペ

山田康司氏が優勝

愛印工組恒例の組合員と関連業界の皆さんとの交流を目的とした「第10回親睦ゴルフコンペ」が、9月8日、豊田市月原町のセントクリークゴルフクラブで開催された。当日は、愛印工組組合員及び関連業者ら60人が参加、3コース6組に分かれ日頃の腕前を競った。当日は、心配された天候も、幸いプレーに支障のない程度に収まり、参加者全員楽しい時間を共有することができた。プレー後、パーティー会場に移りコンペの成績が発表された。優勝は山田康司氏が獲得した。

【上位5位までの順位】

優勝：山田康司氏（㈱プロスペック）、
準優勝：酒向純也氏（㈱プリンスパック）、



3位：伊藤公一（㈱アイビーネット）、4位：伊藤亮仁（伊藤手帳㈱）、5位：酒井良輔（知多印刷㈱／愛印工組理事長）。

上段写真は、セントクリークゴルフクラブでの参加者一同と、右下は優勝した山田氏（左）と酒井理事長。



光文堂開催

Postpress Value Doors2026「第50回最新製本省力化機材展」

後加工の付加価値ビジネス構築の展示会



㈱光文堂は、毎年恒例の「最新製本省力化機材展」を10月8・9の両日、昭和区福江にある光文堂テクニカルステーションにおいて開催する。今回50回を迎えるにあたり、名称を「Postpress Value Doors」へと変更し開催する。今後、後加工の付加価値ビジネスを構築するための展示会としてアピールしていくとしている。

【開催概要】

- ▽名称＝Postpress Value Doors 2026「第50回最新製本省力化機材展」
- ▽日時＝10月8日（木）午前10時～午後5時、9日（金）午前9時30分～午後4時
- ▽会場＝光文堂テクニカルステーション（名古屋市昭和区福江 2-10-15）
- ▽協力＝愛知県製本工業組合、愛知県紙器段ボール箱工業組合
- ▽協賛＝各出品機械メーカー

【出品社】

●ヤマト●㈱東洋化学商会●大河内鉄工所●中部機械刃物●㈱グラフィックサポート●㈱工藤鉄工所●㈱ウチダテクノ●㈱正栄機械製作所●富士フィルムグラフィックソリューションズ㈱●コニカミノルタジャパン㈱●静岡製機㈱●ストラパック㈱●イートテック㈱●ホリゾンジャパン㈱●リコージャパン㈱●㈱光文堂●中古機エリア。

【併催行事】

●2026年度断裁機特別教育講習会＝学科講習10月9日（金）、実技講習10月10日（土）。

【セミナー開催】

●日時＝10月8日（木）、午後1時

30分～午後3時

●場所＝光文堂テクニカルステーション 2F多目的ホール

●演題＝未来の製本現場をデザインする 省力化設備戦力～人手不足、低コスト生産、業務環境改善に対する製本設備を考える～

●講師＝ホリゾンジャパン㈱マーケティング部セクションマネージャー松本俊介氏、同西日本営業部ゼネラルマネージャー真木裕之氏。

【住所変更】

◎不二印刷工業㈱

新住所：〒452-0962 愛知県清須市春日中沼85-1 TEL052-504-9461
FAX052-504-9465

◎㈱モトヤ名古屋支社

新住所：〒462-0847 名古屋市中区金城3-3-18 TEL052-935-5315
FAX052-935-5338

あいの印刷

No.659

令和8年10月10日発行

発行人
編集
発行所
〒461-0001

酒井良輔
組織・共済委員会
愛知県印刷工業組合
名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <https://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン	Graphic design
ウェブデザイン	Web design
セールスプロモーションデザイン	Sales promotion design
エディトリアルデザイン	Editorial design
アドバタイジングデザイン	Advertising design
オンデマンドプリンティング	On-demand printing

adWiSE

株式会社 アドワイズ

〒451-0031 名古屋市西区城西3丁目21-12 サンシャイン浄心南601

TEL 052-528-1070

FAX 052-528-1071

E-mail: ad-wise@ad-wise.biz <https://www.ad-wise.biz/>

字由字在

モリサワ

文字とつながる。世界がひろがる。



Morisawa Fonts

フォントのサブスクリプションサービス

豊富な書体ライブラリー／複数デバイスでの利用／簡単なフォントインストール



Axuas

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511

紙のプロフェッショナルとして
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507

皆様の「包む」を
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518

地球に優しい
「LED照明」を中心に省エネ化の
お手伝いをいたします。



株式会社 アクスアス

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 <https://www.axuas.jp>

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品

グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

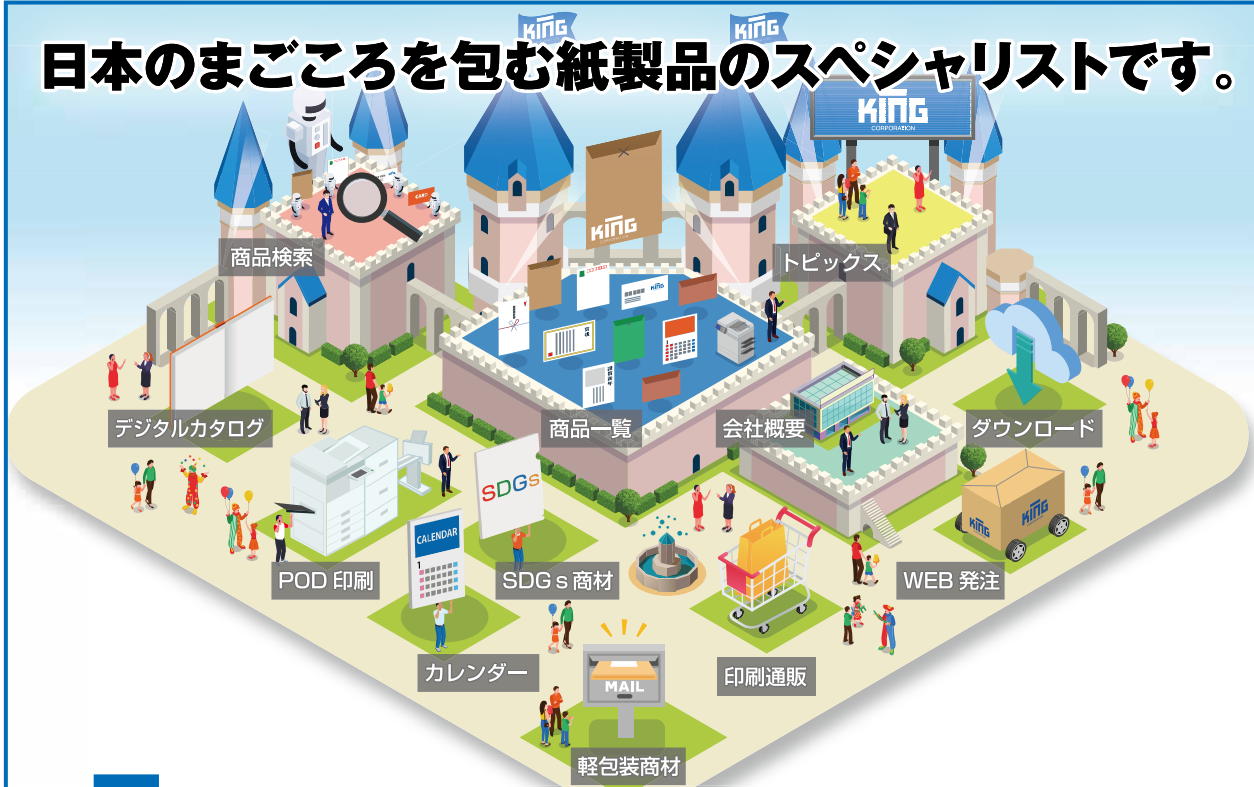
デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



日本のまごころを包む紙製品のスペシャリストです。



株式会社キングコーポレーション

本社／〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL:052-961-7661
名古屋本店／〒490-1113 愛知県あま市中萱津大坊30番地 TEL:052-444-7151・7161



現在・過去・未来 その先へ

KOBUNDO

<http://www.kobundo.co.jp>

K BAZAAR

KOBUNDO Online Shopping Mall

<https://ec.kobundo.co.jp/>

KBD New Products

オンデマンド段ボール加工機 (強化ダンボール対応)

KBD AUTO SLOTTER AB2500 HD

各種特許を取得した構造設計により、強化段ボールをワンパスで連続生産可能にしたモデル

1回の操作で、裁断、溝切り、段違いの線検、段潰し、手穴あけなど、この1台で対応可能



オプションにて幅方向の2面付け加工に対応

自動給紙カッティングマシン

NEW

KBD AUTO CTM 0710 PLUS

B1相当サイズ・菊全判サイズオフセット印刷、オンデマンド機B2サイズまでのシール、ラベル、コートボール、15mm厚までの段ボール等の紙器を自動給紙、カット、排出処理を全自動で行います。15mmまでの各種ボードや硬い樹脂板のカットも連続処理ができます

- QRコードもスキャンしてカットデータファイルを自動取得し、連続で異なったカットを行えます。
- ドラックナイフ2本・電動振動刃・ユニバーサルカットツール・筋押しホイールが標準装備です。

ルーターで15mmまでのアクリル板加工ができます。

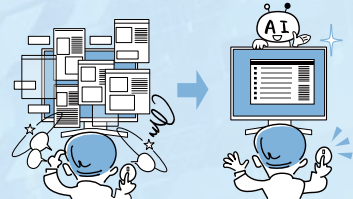


生成AIで実現する印刷前データ校正システム

NEW

KBD ファイナルデータアドバイザー

文字校正だけじゃない！AIがデザインのアドバイスまでしてくれる画期的なシステム登場！



QRコードチェック用ソフト

NEW

KBD QRエビデンサー AD

ご好評いただいている KBD QRエビデンサーが進化！レポート作成前に、システムが認識した二次元コードを

事前に確認できる新たな機能を追加！



スマホに表示されたPDF上のQRコードがタップできる

NEW

KBD リンクリンク AD

ご好評いただいている KBD リンクリンクが進化！新たにSNS用の二次元コードもタップできるようになりました！



印刷機材の総合商社

株式会社

光文堂

本店／〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社／東京 支店／東北・静岡・金沢・大阪・北九州・福岡 営業所／北海道
青森・山形・千葉・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・徳島・山口・大分・熊本・沖縄
事業部／カラーソリューション・Pro-vision 技術部／KOBUNDOテクニカルソリューション